

令和7年7月6日

ご門信徒 様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第36回 定例法座 ためして仏教！！ご報告

- 日 時 令和7年7月6日〔日〕 13時半～15時半
- 場 所 光 照 寺
- 必要な物 お数珠 筆記用具 赤本
- 今回のお題

「お内仏（お仏壇）の飾り方？なぜ自宅に」

スケジュール：

- 13：30 寸劇
- 13：45 お勤め
- 14：30 座談
- 15：30 法話

門信徒 A さんの感想

住職と門徒さんの即興寸劇『お内仏（お仏壇）のお飾りの仕方』から、始まりました。参加者の方の笑い声が響きました。

そして、お勤め、座談、法話の流れで法座が進みました。
座談のあとは、住職の法話でした。以下私が、聞いた法話です。

お内仏は、各人各人が自分自身の生き方を確認する為にあるのではないのでしょうか。
又、生と死を切り離して考えることは出来ないのではないかと問われました。
命は、つながって、関わって存在する、そして亡くなっていく命をどう生きていけばいいのでしょうか。自分のことは、自分では分からないかもしれません。ご本尊・諸仏（亡きご先祖）お内仏（お仏壇）を通して、自分の内側を問い訪ねていくことが、限りある命を悔いなく大事に生きていく事につながるのでは？と教えていただいた気がします。

